

令和7年度 畜産試験場の業務推進目標

基本目標（組織目標）

「しあわせ信州創造プラン 3.0」の基本目標である「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」と、「第4期長野県食と農業農村振興計画」の基本目標である「人と地域が育む 未来につづく 信州の農業・農村と食」の実現に向けて、5か年計画の中間年であることを意識し、具体的な成果のために取組を加速させるよう、農政部職員全員が自分ごと化して、関係者と連携して積極的に取り組みます。

心構え

地域や現場へ積極的に出向き、県民・農業者視点で課題等を捉え、地域の農業者や市町村等の思いに寄り添い、関係機関と連携しながら職員同士が協力・協働し、農業者や地域のやる気を引き出す仕掛け・提案・アクションを起こします。

重点目標

1 生産力を強化し収益性を高めるための技術開発

(1) 先進技術を活用した家畜の管理、生産性向上技術の開発

AI等を活用した牛の画像解析について、民間企業と共同して実用性を高めます。

(2) 高品質畜産物の安定生産技術の開発

- ・牛群検定やバルク乳成分解析等により、乳用牛群の健康評価と適正な飼養管理を支援します。
- ・牛の体外受精卵へのストレスを軽減する技術開発、野外応用や体外受精卵の供給を推進します。

【信州プレミアム牛肉「脂肪の質」向上対策事業計画】優良受精卵配布 80 卵

- ・脂肪交雑に着目した豚肉や、希少種を活用した特徴ある豚肉の生産技術を開発します。

【養豚生産力強化支援事業計画】豚の精液配布 1,800 本

- ・信州黄金シャモ親鳥の産卵性能の高め、安定した雛供給を推進します。

【信州こだわり地鶏生産推進事業】地鶏の雛配布 25,000 羽

(3) 飼料作物の安定生産技術の開発

- ・すす紋病に強く、利用性に優れるスーダングラスの開発を推進します。
- ・青刈りトウモロコシについて、二期作体系による安定生産技術を開発します。
- ・ソルガム子実の安定的な飼料利用に向けた栽培、利用技術を開発します。

2 地球環境に配慮し持続可能な農業を実現するための技術開発

- ・牛のメタンガス発生を抑制する飼料資源等の検証を進めます。
- ・高温下で硝酸態窒素が蓄積しにくいスーダングラス等、地球温暖化に対応した牧草を選定します。
- ・アニマルウエルフェア（AW）に配慮した飼養管理技術の実証を進めます。
- ・酒粕等の未利用資源等の飼料活用技術の検証、普及を図ります。
- ・有機農業に利用可能なペレット堆肥、堆肥を活用した減化学肥料栽培技術を開発します。

3 組織の活性化、県民や関係団体など産官学の連携・協働、その他独自の取組

- ・場全体で家畜伝染病防疫の意識を高め、徹底した病原体の侵入防止対策に取組みます。
- ・国や県の研究機関、大学、企業などと連携して先進的な研究開発に努めます。
- ・積極的かつ「伝わる」情報発信に努め、普及組織と協働して農家への技術移転を進めます。
- ・「かえるプロジェクト」の実践、風通しの良い、「明るく楽しく安全で前向きな」な職場づくりを推進します。
- ・「長野県行政経営理念」の実現に向け、職員一人ひとりが県の目指すコンプライアンスを「自分ごと」とし、常にチームとして支えあい、助け合って課題解決にあたります。